

まるで矢羽のような木・・・ニシキギ

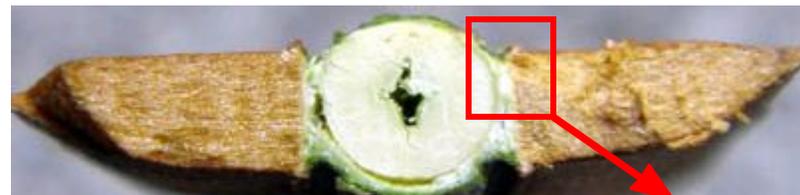


この木を初めて見た時（気付いた時）、まるで矢羽のような枝を付けたこんな木があって良いものか・・・と驚いた。何かの病気なのか？とも思った。

ニシキギ（錦木）というニシキギ科ニシキギ属の落葉低木であることを知った。

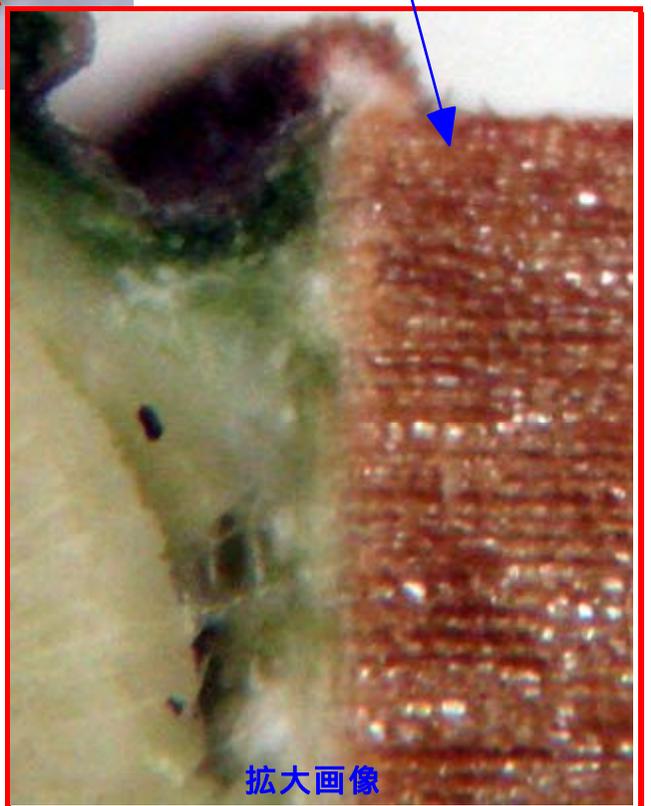
庭木や生垣、盆栽にされる。若い枝では表皮を突き破ってコルク質の2枚の翼（ヨク）が伸長、ヤハズ羽に似た翼をつける（別名ヤハズマユミ・・・厳密には矢筈ではなく矢羽だけだね）

この翼を黒焼き粉末にして、飯粒と混ぜ合わせてよく練って、和紙または布に広げてトゲの刺さった箇所には張ると、トゲが浮いてきて抜けやすくなるそうです。まだ火傷の薬とする、そうです。



A-A 切断面

コルクは細胞壁が厚くなった死細胞で、多孔質。多くの場合、脂肪を含んでいて、水などの通過を阻害するはたらきがある



拡大画像

それにしても、この翼は一体何のためにあるのだろうか。

- 枝の強度増加・・・ないとのこと
- 外的からの防御・・・触っても痛くない
- ・・・うーん思いつかない

自然界には不思議いっぱい！

ニシキギの実です（ちょっとくたびれているかな）



紅葉が見事でモミジ・スズランノキと共に世界三大紅葉樹に数えられる。

